

凡例	
<b>電気設備</b>	<b>自転車・バイク誘導</b>
● 照明灯改修	○ 自転車誘導看板改修 (現況に適合する板面にする)
<b>排水設備</b>	○ オートバイ乗り入れ禁止看板撤去 (パイプ欄を設置するため撤去する)
— 横断側溝改修 (蓋交換)	■ 路面標示サイン「押し歩き」設置
— デザイン側溝清掃	- - - 推奨ルート：緑道部 (未整備区間) 路面標示サイン「ゆっくり」設置
— V型側溝蓋改修 (段差解消、排水経路改修)	- - - 推奨ルート：緑道部 (整備済区間)
■ 雨水樹蓋改修	- - - 推奨ルート：一般 (幹線) 部
— 横断みぞ改修 (段差解消、排水経路改修)	<b>その他施設</b>
<b>園路舗装</b>	— パイプ欄設置
■ 石舗装改修 (段差解消)	— 欄再塗装
■ 透水性脱色アスファルト舗装に変更	— 手すり新設
■ 土系舗装に変更	○ 車止め改修
	— 土留め設置
	● 花木等植栽



現況写真②



現況写真①

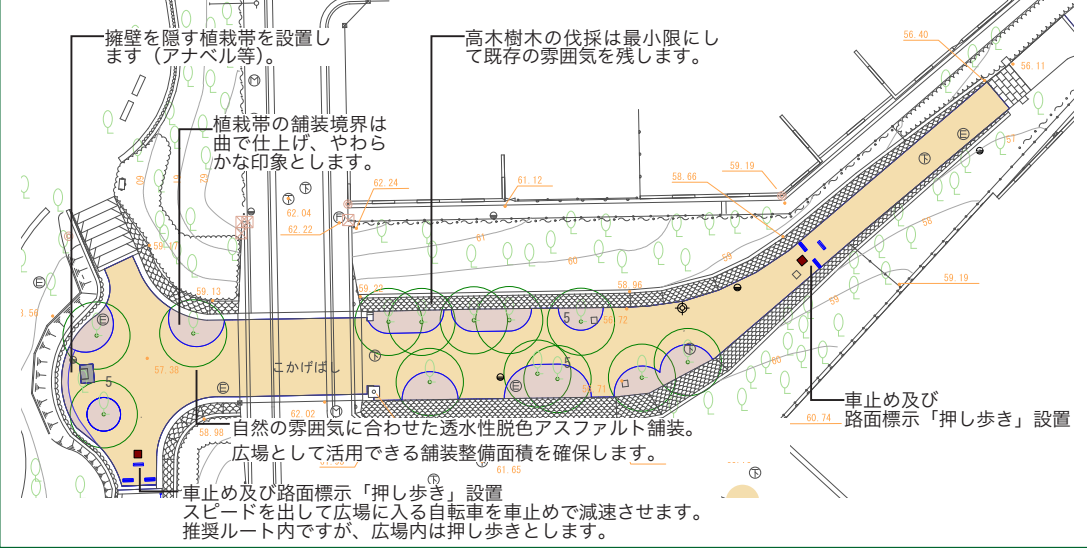


現況写真③

### 広場改修

見花山かりん公園東側にある空間を、既存の雰囲気を残しつつ、イベント時などに広場として利用しやすくするために改修します。

改修案イメージ



### 自転車誘導看板

自転車推奨ルート設定以前に設置された看板を改修し、現況に合わせた内容にします。

変更する看板の候補 (全6種類)

名称	看板 A	看板 B	看板 C
板面デザイン			
内容	推奨ルート入口「ゆっくり」	推奨ルート外の入口「押し歩き」	推奨ルート外の途中「押し歩き」
名称	看板 D	看板 E	看板 F
板面デザイン			
内容	推奨ルートの途中「ゆっくり」	推奨ルートの途中「押し歩き」	推奨ルートの入口「押し歩き」

### デザイン手すり設置

滑りやすい坂道の通行を補助するため、片側にデザイン手すりを設置します。



白河石舗装の、荒天時滑りやすい坂道

### 入口設置 ( 図中赤点線周辺 )

緑道内へアクセスするための新しい段差のない入口を整備します。



(現況) 入口設置箇所

### 電気設備改修 ( 図中青点線周辺 )

照明灯の間隔が広く夜間暗いので、防犯性を高めるため照明灯を追加します。



(現況) こかげ橋東側

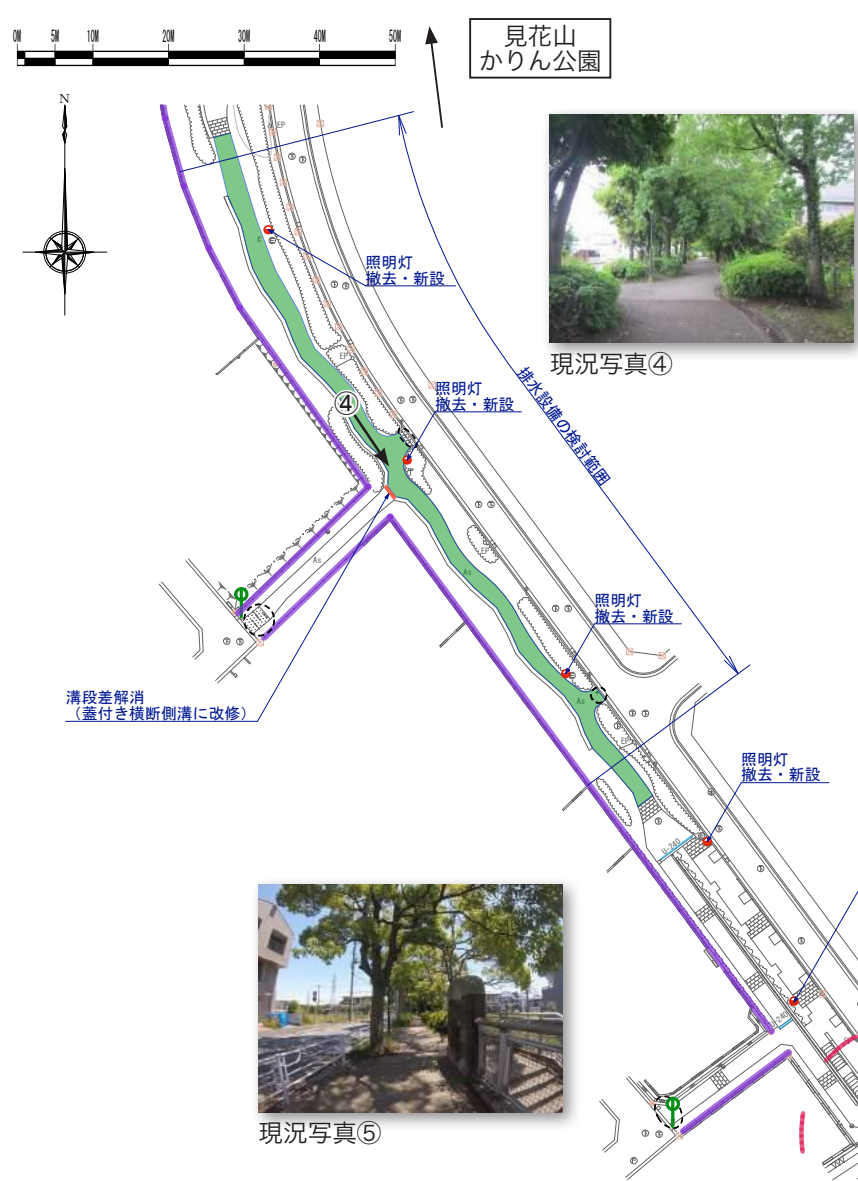
### 自転車誘導の路面標示

自転車推奨ルートに指定されている区間は「ゆっくり」通行を促す路面表示を、推奨ルートの端点は自転車を降りて「押し歩き」を促す路面標示を設置します。



路面標示「押し歩き」 路面標示「ゆっくり」





### ■電気設備改修

ゆうばえのみちの他の工区の照明灯と同じデザインのものにします。

古いタイプの照明灯は灯具のLED化と柱の再塗装を行い、残します。



### ■排水設備改修

側溝を清掃します。

通行時の安全性のため、蓋付きの横断側溝への改修や、石を貼り溝を埋めることで段差解消をします。

園路を横断しているV型側溝を撤去し蓋付きの側溝に改修し、段差解消します。



隙間の広い蓋（並目グレーチング蓋）の横断側溝や雨水樹の蓋は、隙間の狭い細目グレーチング蓋の焼き付け塗装のものに交換します。



### ■舗装改修

生活動線としての利用が少ない区間は、周辺景観に配慮し、アスファルト舗装から自然な印象の土系舗装に改修します。

多くの通行があり、ハードな舗装が必要な区間は、景観性を考慮し透水性脱色アスファルト舗装に改修します。

樹木の根上がりが見られる舗装は、高さを調整をして段差の無い園路にします。



入口部の車止め改修の際、白河石舗装の箇所はなるべく石張りを残すように改修します。



### ■凡例

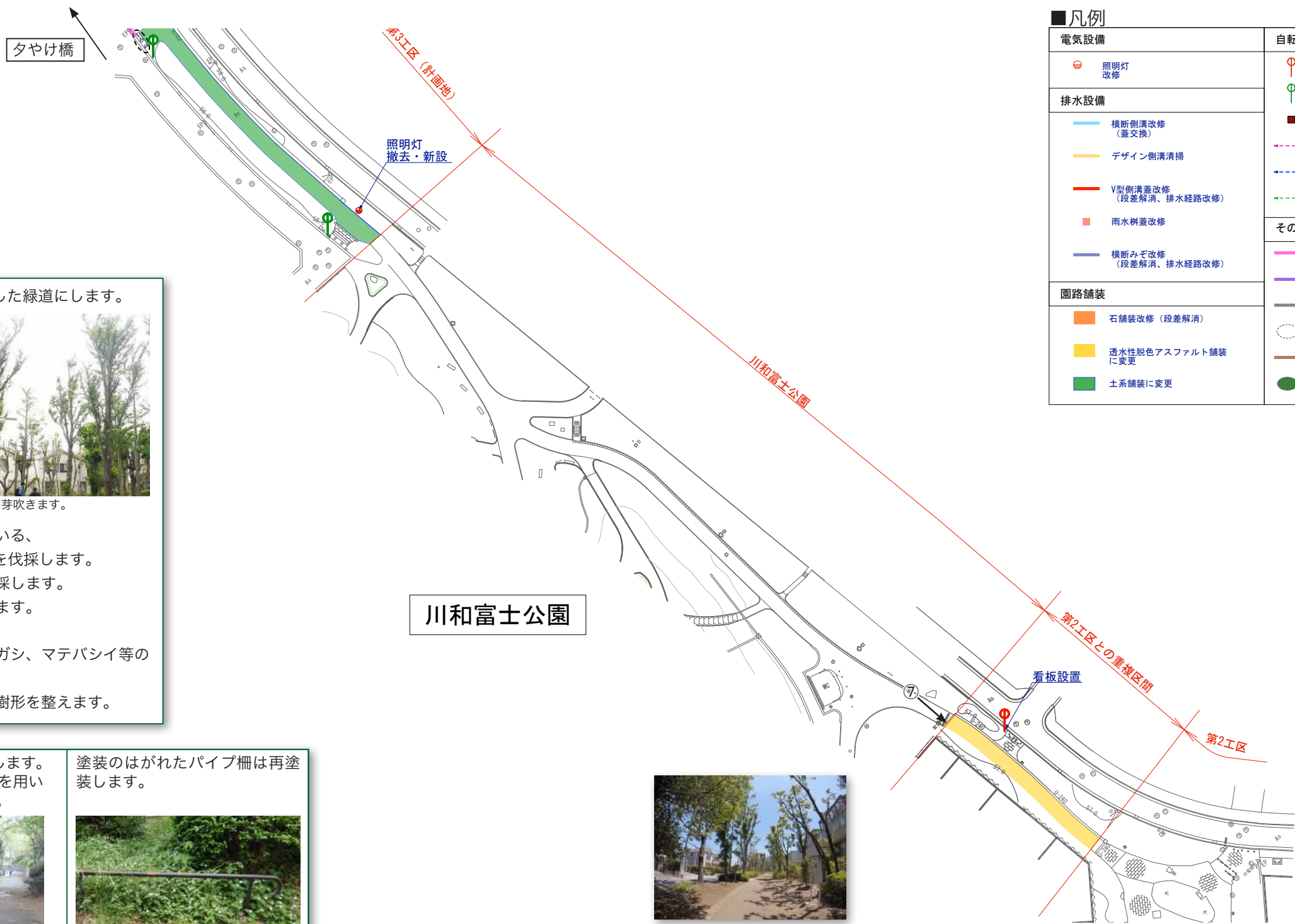
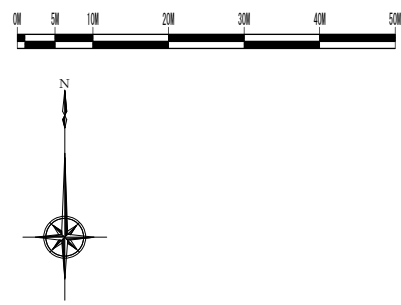
<b>電気設備</b>	<b>自転車・バイク誘導</b>
● 照明灯改修	○ 自転車誘導看板改修 (現況に適合する板面にする)
<b>排水設備</b>	○ オートバイ乗り入れ禁止看板撤去 (パイプ欄を設置するため撤去する)
— 横断側溝改修 (蓋交換)	■ 路面標示サイン「押し歩き」設置
— デザイン側溝清掃	- - - 推奨ルート：緑道部(未整備区間) 路面標示サイン「ゆっくり」設置
— V型側溝蓋改修 (段差解消、排水経路改修)	- - - 推奨ルート：緑道部(整備済区間)
■ 雨水樹蓋改修	- - - 推奨ルート：一般(幹線)部
— 横断みぞ改修 (段差解消、排水経路改修)	<b>その他施設</b>
<b>園路舗装</b>	— パイプ欄設置
■ 石舗装改修 (段差解消)	— 欄再塗装
■ 透水性脱色アスファルト舗装に変更	— 手すり新設
■ 土系舗装に変更	○ 車止め改修
	— 土留め設置
	● 花木等植栽

※道路区域の剪定や根上がり等の段差解消については、工事に合わせて今年度実施します。

草目地の復旧  
当初の草目地を再生し、段差改善します。  
1段パイプ欄設置  
バイク、自転車の乱横断を防止します。

※舗装改修は排水性に十分配慮した施工を行います。  
※計画に大きな変更があった場合、現地と都筑土木事務所ホームページでお知らせいたします。





■凡例	
<b>電気設備</b> 照明灯改修 <b>排水設備</b> 横断側溝改修 (蓋交換) デザイン側溝清掃 V型側溝改修 (段差解消、排水経路改修) 雨水樹蓋改修 横断みぞ改修 (段差解消、排水経路改修)	<b>自転車・バイク誘導</b> 自転車誘導看板改修 (現況に適合する板面にする) オートバイ乗り入れ禁止看板撤去 (パイプ柵を設置するため撤去する) 路面標示サイン「押し歩き」設置 推奨ルート：緑道部(未整備区間) 路面標示サイン「ゆっくり」設置 推奨ルート：緑道部(整備済区間) 推奨ルート：一般(幹線)部 <b>その他施設</b> パイプ柵設置 柵再塗装 手すり新設 車止め改修 土留め設置 花木等植栽
<b>園路舗装</b> 石舗装改修 (段差解消) 透水性脱色アスファルト舗装に変更 土系舗装に変更	

### ■樹木処理

適切に間引き、剪定処理を行い、見通しがよくすっきりした緑道にします。



第2工区の樹木処理 (改修後イメージ)



強剪定をしても葉は芽吹きます。

1. 樹木が過密化しており、視界を遮り空間が暗くなっている、あるいは他の樹木の被圧により成長が望めない樹木等を伐採します。
2. 歩行者の安全を確保するために支障となる樹木は、伐採します。
3. 園路拡幅により影響がある樹木は、伐採・抜根を行います。
4. 伐採は、全体の25～30%程度を予定しています。
5. 伐採を行う樹種は、主にアラカシ、シラカシ、ウバメガシ、マテバシイ等の常緑樹です。サクラやモミジは出来るだけ残します。
6. 伐採を行い、残った樹木は必要に応じて剪定を行い、樹形を整えます。

### ■その他の改修

植栽帯からの土流れがみられるため、新しい土留めに交換します。土留めが無い箇所は新設します。土留めはプラ擬木土留めを用いますが、植栽等を工夫しなるべく目立たないようにします。



土が流れた現況法面



老朽化した既設土留め



塗装がはがれた既設1段パイプ柵

自転車・バイクの走行状態での進入を防ぎ、さらに車椅子やベビーカーが通行可能な幅で再配置します。



既設車止め (車いすやベビーカーの通行が困難)

自転車やバイクによる乱横断が見られる箇所は、進入を防止するためパイプ柵を設置します。



バイクの横断がたびたび見られる植栽帯

階段やスロープにバリアフリー対応の2段手すりを設置します。



朝霧橋東側改修済みのデザイン手すり (本整備箇所と同じデザインの手すりを設置)



現況写真⑦

### ■第2工区との重複区間



第2工区で舗装の仕様が決まらず残した範囲は川和富士公園との一体性を考慮し脱色アスファルト舗装を行います。